



[歴史・意匠] 1 / 2

問1 古代ローマの円形闘技場について、図と文章で説明しなさい。図は平面的な特徴と断面的な特徴が分かる図をそれぞれ描くこと。また、その代表的建築の名称を記しなさい。

<解答例>

<p>図1 平面的な特徴が分かる図</p>	<p>図2 断面的な特徴が分かる図</p>
-----------------------	-----------------------

円形闘技場は、剣闘士や人と動物の闘いを見せるための娯楽施設で、楕円形平面のアリーナとそれを囲む客席からなる。ローマン・コンクリートや切石によるヴォールト天井を放射状に配置することで、階段状の客席とその動線となる階段室を設けている。客席部分は日よけのため、天幕が張られた。アリーナには道具を収納するために床下があることが多い。

高い客席を外壁で支える構造は、長大なファサードを都市に出現させることになった。そこでヴォールト断面であるアーチを付柱（ピラスター）のオーダーで囲むことで、立面のデザインを整えた。

代表的建築には、ローマのコロッセウム、ポンペイの円形闘技場などがある。

[歴史・意匠] 2 / 2

問2 神社本殿に関する以下の問いに答えなさい。

1) 以下の用語を説明しなさい。

草ぶき	寺院建築のように瓦を葺かず、草木で屋根を仕上げること
棟持柱	棟を支える太い掘立柱で、初期の神社本殿にみられる。

2) 神明造、大社造、住吉造、流造、春日造の特徴について、平面と屋根に注目した鳥瞰図で説明しなさい。また、それぞれの代表的建築の名称を記しなさい。

	平面図	鳥瞰図	代表的建築
神明造			伊勢神宮など
大社造			出雲大社など
住吉造			住吉大社など
流造			上賀茂神社, 下賀茂神社など
春日造			春日大社など